



2026年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社 山 大
 代 表 者 名 代表取締役社長 高橋 暢介
 (コード番号：7426 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 管理部部長 加藤 誠
 (TEL 0225-93-1111)

特別損失（減損損失）の計上、法人税等調整額の計上および
 通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。また、2025年11月11日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することと最近の業績動向を踏まえて、2025年5月14日に発表しました2026年3月期の配当予想について、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

木材建材業界および住宅建築業界におきましては、物価の高騰等による新設住宅着工戸数は軟調で、先行き懸念が広がる状況で推移しています。

このような事業環境を踏まえ、当社の連結子会社であるビィ・エル・シー株式会社の固定資産及び同連結子会社に係るのれんにつきまして、将来の可能性などを総合的に検討した結果、2026年3月期第4四半期連結会計期間においての減損損失約25百万円（固定資産12百万円、のれん13百万円）を特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 法人税等調整額の計上について

上記1の減損損失の計上に伴い、再評価に係る繰延税金負債を再計算した結果、2026年3月期第4四半期連結会計期間においてこの一部を取り崩すことといたしました。これにより、法人税等調整額（益）△14円を計上する見込みとなりました。

3. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,492	△404	△393	△397	△357.86
今回修正予想 (B)	4,102	△286	△263	△280	△252.76
増減額 (B-A)	△390	118	130	117	
増減率 (%)	△8.7	-	-	-	
(ご参考) 前期通期実績 (2025年3月期通期)	4,138	△375	△361	△1,436	△1,293.58

(2) 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、個人消費の回復、インバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに回復していますが、ロシア・ウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化、物価上昇等により、新設住宅着工数は軟調に推移し、先行きに懸念が広がる状況で、売上高、売上総利益は、前回予想より、更に上記の影響等で過当競争が強まっており、想定以上に伸び悩み、見込みを下回ったが、一般管理費の減少等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想より良くなる見通しとなりました。

4. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2025 年 5 月 14 日 発表)	/	30 円 00 銭	30 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	/	0 円 00 銭	0 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭	/	/
前 期 実 績 (2025 年 3 月 期)	0 円 00 銭	20 円 00 銭	20 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、内部留保の確保に留意しつつ、配当につきましては業績に応じて成果配分することを基本方針としております。

この基本方針のもと、当期業績予想の進捗状況と財務状況などを総合的に勘案した結果、期末配当予想を1株当たり30円から0円といたします。

(注) 上記の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上